

1 拡大教科書とは

「拡大教科書」とは、見えにくさのある児童生徒のために、検定済教科書の文字や図形を拡大するなどして複製し、同様の内容の図書として発行しているものです。「拡大教科書」は、各出版社から発行されており、児童生徒の見えにくさに配慮し、検定済教科書に比べ文字が太く大きくなっています。また、図表やグラフ、イラストなども見やすくかき換え、編集意図を損なわないように配置し直しています。在籍校で使用される検定済教科書と同一内容の「拡大教科書」を、検定済教科書に代えて無償給与することができます。

1種類の検定済教科書に対して、拡大教科書は、対象者の見えにくさに応じるため、文字の大きさ（ポイント数）や構成などが異なるものが数種類あります。その中から、対象者に合うものを、定期的に見え方や使用状況を確認したうえで選定する必要があります。文字サイズが大きすぎるものは、かえって読む速さが遅くなる場合があります。定期的に見え方や使用状況を確認し、適切な拡大教科書を選定する必要があります。

2 拡大教科書給与までの流れ

